

税 労 第 62-045 号  
令和 4 年 2 月 14 日

日本税関労働組合  
中央執行委員長 倉 本 和 邦 殿

日本税関労働組合青年委員会  
青年委員長 呉 屋 堯 歩

第 62 期第 3 回青年委員会議事録について（送付）

このことについて、議事録を作成したので、別紙 1 のとおり送付します。

第 62 期第 3 回青年委員会議事録

1 開催日時 令和 4 年 1 月 28 日 (金) 午前 10 時から午後 5 時

2 開催場所 各地区本部及び自宅

3 出席者

[青年委員長]

呉屋堯歩

[副青年委員長]

小林佑太朗 (PM)、関口法立

[書記長]

島中翔

[執行委員]

松本琉寿、近藤隆也、西原夕夏、古川遼 (PM)、渡辺航

[中執 (青年担当)]

村岡和弥 (中央書記次長)

4 議 題

(1) 各地区本部活動経過報告

(2) 中等科アンケートの共有

(3) 税関研修所副所長会見議題検討

(4) JCU セミナーの検討

(5) 各種アンケート内容の検討

(6) その他

5 議事内容

(1) 各地区本部活動経過報告

各地区本部からの「各地区本部情勢報告」の共有を行った。補足を含め、記載されている内容以外の発言は以下のとおり。

ア 函館

- ・ 1/29 (土) に青年冬レク (カーリング) を予定していたが、蔓延防止措置中のため、中止となった。中止によるクレームはなく、計画してくれたことによる御礼があったので計画したことに意義があったと思う。
- ・ 旗開きの代わりに、抽選会を実施した。60 名が参加、30 名弱が当選。当たらなかった人はダブルチャンスでマスクなどを渡した。

イ 東京

- ・午前欠席のため報告なし。

ウ 横浜

- ・特になし。

エ 名古屋

- ・名古屋独自で2月に行う予定だった新職のフォローアップ研修について、蔓延防止措置の関係で令和3年生のみ実施、2年生は延期となった。各部署から講師を募って幅広く行う予定とのこと。

⇒函館でも同様の取組みが行われており、当初は2月に本関に集めて行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインで令和2年3年に対して行う予定との共有があった。

- ・3月予定としている青年主催ファミリーレクについては、未定。

オ 大阪

- ・特になし。

カ 神戸

- ・1/13に旗開き実施。
- ・USJレクは、開催案内の新聞を1月末か2月頭に送付予定。

キ 門司

- ・午前欠席のため報告なし。

ク 長崎

- ・青年レクは新型コロナウイルス感染症の影響で、延期。コロナが落ち着き次第ということ で未定。新聞も開催の見通しが立ってから発行予定。
- ・12月のクリスマスイベントは無事に実施。2月中には実施しましたの新聞を発行予定。

ケ 沖縄

- ・計画しようとしていたビーチパーティーレクも新型コロナウイルス感染症の影響で、進んでいない。コロナの状況をみて検討する。

(2) 中等科アンケートの共有

- ・今期実施した中等科アンケートについて、中央書記局の村岡書記次長が分析した結果を共有した。議題3で検討する税関研修所副所長会見議題で使用する。

### (3) 税関研修所副所長会見議題検討

答申であった、以下の内容について検討を行った。また、各議題の補足（研修大綱、研修所予算、女性採用目標など）について検討前に村岡書記次長から説明があった。

#### ア 「議題1 新型コロナウイルスについて」

(検討結果)「アルコール消毒液といった感染症予防物品」の下線部を削除

(理 由) 具体例を出さなくても分かり切っているため。少しでも短く。

#### イ 「議題3 施設等について」

##### (ア)「(1) 冷暖房設備について」

(検討結果) 文言中の「食堂」と「ストーブ」の部分を削除。

(理 由) 食堂は現在撤退しているため。ストーブは前回の会見の回答で、各部屋で1台配備したとの回答があった。特に寒い中等科は一部屋1名なので、問題は解決できているため。

##### (イ)「(2) 女性用トイレ及びシャワーの増加について」

(検討結果)「新規採用職員研修生から未だに」の部分を削除。

(理 由) 新規採用職員研修生のみの問題ではないため。

##### (ウ)「(3) 居室について」

(検討結果) カビの部分は残して、除湿器等の要求をする。

(理 由) 前回の交渉で、一定の回答はあったが、根本的な解決になっていないため、根本的な解決となるように、除湿器等の具体的な要求を行う。

(検討結果) 集合研修が再開されたときに気持ちよく利用できるように要求する。

(理 由) 昨年、7月以降、柏での集合研修は、1回しか行われていないため。

##### (エ)「(4) 食堂について」

(検討結果) 食堂の現状について確認する。

(理 由) 食堂については、昨年から撤退されており、状況が変わっているため、現状を把握する必要があるため。

#### ウ 「議題4 各種研修について」

(検討結果) 画面の見づらさ等のオンライン受講の改善を要求する。簿記、財務諸表の講義について改善を要求する。同期間の交流や、フォローアップの際のロールプレイの要望を入れる。

(理 由) 新職、中等科アンケート結果から要望があったため。

(検討結果) 新規に「在宅で行うオンライン研修の諸問題について」を(3)として入れ込む。

(理 由) アンケート結果からの新規案件であり、前段に落とし込むとぼやけてしまうため、明確な回答をもらうために、新規項目で入れる。

#### (4) JCUセミナーの検討

##### ア 時期、中止判断のタイミングについて

- ・函館がレクを企画して中止となったが、組合員から企画自体への感謝があったことから、JCUセミナーも現段階では中止とせず、開催の方向で進めることとした(少なくとも開催案内は出す)。
- ・前回の青年委員会で今期は、JCU セミナーを2回開催する方向で検討することとしたが、今の感染状況を鑑みて2回開催することは難しいと考えられるので、1回開催で進めていくこととした。
- ・例年4月開催としており、現在の予定では、柔剣道大会や中央委員会の日程を考慮して、初旬か下旬で検討したが、下旬はGW開始と重なり、避けることとした。
- ・よって、開催は4月8日(金)9日(土)又は4月9日(土)10日(日)のいずれかとした。しかし、感染状況が落ち着いておらず、中止となる可能性があることから、その場合は、中止とせず、延期して5月下旬を予備日とする。
- ・延期の判断は、開催予定日の3週間前にはと旅行会社から話があったので、3月18日(金)とする(旅行会社的には延期日が空いている補償はないので、延期の決定は早い方がより望ましいとのこと)。
- ・延期後の中止の判断は、その時の感染状況で判断することとする(今の感染状況であれば中止)。少なくとも、緊急事態宣言や蔓延防止措置が出ている地域に居住又は勤務している人の参加は不可とする(募集の段階でそこにも触れておく)。
- ・なお、中止となった場合、代替としてのオンラインJCUセミナーは行わない。

##### イ 内容について

- ・旅行会社から提案のあった3案について、検討した結果、過去利用している「森と湖の楽園」で行うこととした。理由は以下のとおり。ただし、中央執行委員会に諮り、バス移動での感染リスクを指摘された場合は、「よみうりランド」プランとする。

レ ク) 宝探しゲーム、カレー作り対決

セミナー) 移動中のバス内で簡単に組合についての説明

(理由)

- ① 交流という点では、宝探しゲーム、カレー作りが適している。
- ② 他の案では、セミナーをする場所や時間がない
- ③ 他のお客との接触のリスクがない
- ④ 他の案にあるチームビルディングは、接触が多いのでやめておいた方がよい
- ⑤ 移動バスでの感染対策として、バス2台を借りて隣は空席とする(下記イ記載のとおり1回開催としたので、2回目の費用相当で充填できる)。バス内での交流や会話は控えてもらい、やってもセミナーの話を簡単にするのみとする。映画の上映も可能。

(キャンセル料の取り扱い) ※旅行会社に確認済

- ① 延 期：発生しない（延期日が空いていれば無料で振替え）
- ② 緊急事態宣言中の中止：おそらく発生しない
- ③ 蔓延防止措置中の中止：交渉次第
- ④ 上 記 以 外 の 場 合：発生する

ウ 定数について

・参加人数の定数については、各地区本部の青年層組合員数で按分することにより決定した。各地区本部の状況に応じて以下の枠内でお互いに融通を利かす。

40 名（函館 2、東京 19、横浜 2、名古屋 2、大阪 2、神戸 3、門司 4、長崎 3、沖縄 3）

#### (5) 各種アンケート内容の検討

ア 基礎科、普通科、中等科アンケート共通

- ・研修期間について、「長い」「短い」についての設問を新設する。今後の結果をみて、「長い」「短い」の意見が多ければ次回のアンケートで理由等の設問も追加する。
- ・通信環境に関する質問は、オンラインで開催されるのであれば、中等科研修アンケートで行ったような内容を聞くこととする。

イ 中等科アンケート

- ・「問 1 研修内容について」の「①分かりやすい科目②分かりにくかった科目③時間が足りなかった科目④もっと時間が短くてよかった科目」について、アンケートは組合員の不満の声を拾って改善するために行っている及び組合員から設問が多いという意見がある等の理由から以下の 2 パターンで今後検討することとした。

(ア) パターン 1

- ・①③④を削除し、②のみを残す  
(理由) 不満の声を拾うなら①は不要。③④は②があれば拾える。

(イ) パターン 2

- ・①②③④を削除し、⑤に分かりにくかった科目も記載してもらえるような設問にする。

ウ 青年委員会アンケート

- ・「問 4 ④男性が育児休暇を取得したいと伝えられた場合、どう思うか？」については、設問の意図も不明のため削除する。その代わり、所属の統括官から育児休暇及び育児休業の態勢があった場合、制度面の説明が十分なされていたのかを聞くこととする。

(理由) 特に育児休業では、住居手当が不支給となる等あるため。

#### (6) その他

- ・村岡書記次長より、アンケートの対象者についての意識合わせがあった。青年が実施

しているアンケートについて、青年層組合員の要望を叶えるために、配布対象者は組合員のみとしている（新規採用職員研修のアンケートは除く）。

- ・村岡書記次長より、例年行っている「新規採用職員加入状況」について、説明があった。今後は、青年委員会毎に新規採用職員の状況を共有することとした。
- ・JCUタオルの代案として検討している手帳について、村岡書記次長から複数提示があった。胸ポケット等にも入るサイズで検討し、1番コンパクトな手帳にすることとした。シールについては、表面では目立つことから、裏面にはこべいとJCUロゴを貼ることとした。

以上